

校長退任にあたり



前学長の武藤元昭先生からの薦めもあって、初めて静岡英和女学院を訪れたことを鮮明に覚えています。曇天の寒い2015年1月のことでした。静岡駅で前副校長の池田先生の出迎えを受け、校舎の佇まいと体育館で部活動している生徒たちの姿を見ている中で、静岡で仕事をすることへの逡巡の気持ちが徐々に薄らいでいきました。最後は礼拝堂で暫し黙祷をし、神様の御心を賜る気持ちで、静岡英和女学院で奉職することを決意いたしました。以来、歴史と伝統ある女子教育のリーディング・スクールで校長職を拝命し、4年が過ぎました。

2015年4月1日の職員会議では、教員の本来業務である授業力の向上を第一声として挙げ、『英語の英和』、EIWA (elegance/intelligence/wisdom/ability) の提唱、コース制の拡充、英和学・英和女性学の開講、静岡市との地方創生の提携、西遠女子学園とのなでしこ教育推進委員会の発足、同窓会・PTAとの連携や一般入試での英語試験導入など、多くの種蒔きを教職員の理解の元に進めてきました。さらに、管理職の切磋琢磨にはとりわけ力を入れ、後継者の育成にも努めました。と同時に若手の先生方の積極的な登用も実施し、少数の先生に校務が偏重することのないように校務バランスを考え、さまざまな仕事を多くの先生方に担っていただくようお願いをしました。

特に、教職は聖職であるとのことから、自身も含め教員としての心構えとサービスには厳しさを求めました。お蔭様で在任期間中には、事故・不祥事もなく大過なく学校運営に尽力できました。

また、年間40回を超える生徒たちとの昼食会から、暖房便座の導入、正面玄関前のカーブミラー設置、体育館のLED化、傘の雨滴除去器の設置、校舎のペンキ塗り、段差のある階段等のライト設置や授業改善への示唆など、快適・安全性の観点からの校舎のメンテナンスを実施し、授業改革への一定の方向性を見出すことができました。とりわけ、平成最後の改修となったテニス・コートの人工芝張替えと体育館の改修ができたことはとても良かったと考えています。

一方で、校舎の新改築や職場環境の改善に努めてきましたが、十分な理解を得られず、満足のいく成果が出せなかったことが心残りです。

在任期間中、非常勤の教職員も含め静岡英和女学院に奉職する全ての皆さまのご理解
とご協力に改めてお礼を申し上げます。併せて、PTA、母の会、同窓会、後援会の皆さ
まのご支援とご協力に篤くお礼申し上げます。私自身が経済界出身の校長であったこと
もあり、静岡商工会議所、ロータリークラブ等の静岡経済界からもご支援を戴けたこと
に深く感謝申し上げます。

神様の御心にかなう学校法人静岡英和学院と静岡英和女学院でありますよう、永久に
栄えある静岡英和女学院となることを心より祈念申し上げて、退任の挨拶といたします。

逆巻く波をも、荒める風をも、
み旨のまにまに 鎮める主イエスよ、
波路ゆく友を 安く守りませ。

皆さま、ごきげんよう、さようなら。

2019年3月吉日

吉田幸一